



## 川原で砂は砂、小石は小石とかたまっているのはなぜ

### 流れの速さによって、川底のようすはちがう

川底のようすを観察してみると、川底に小石がたくさん積もっている所や、小石が少なく、ほとんどが砂になっている所があります。

水の流れが速い所の川底では、砂が少なく小石が多く見られ、流れのおそい所では、砂が多く見られます。

このように、水の流れの速さのちがいによって、川底に積もるものの大きさが、変わります。

### 水の流れの速さのちがいによる

川原のようすを観察してみると、川原はふつう、砂は砂、小石は小石というように、同じくらいの大きさのものどうしが、集まって積もっています。いろいろの大きさのものが混ざっている所は、ほとんどありません。

このようになるのは、川の水で運ばれてきたものの積もる場所が、流れの速さによって決まるからです。

小石は少し流れがおそくなると、下流に運ばれないで積もりますが、砂は流れがかなり弱くならないと、積もりません。ねん土になると、ほとんど流れがないような所にならないと積もりません。

このように、流れてくるものの大きさや重さによって、積もる所が別々になり、砂は砂、小石は小石というように、かたまっているのです。（監修・国司・真）

